

広報2017

ちの
Chino City

平成29年

No.878

8月号



茅野市消防団 ポンプ操法・ラツパ吹奏大会

【今月の表紙】 6月18日(日)北部中学校校庭で開かれた茅野市消防団の「第58回ポンプ操法大会」「第29回ラツパ吹奏大会」。表紙写真は北山分団の選手。日頃の消防団の士気と結束力を高めるとともに消火技術の向上を目的とするこの大会は、同時に訓練の成果を地域の皆さんに報告する場でもあります。

一挙手一投足に

魂込めて

日頃の消防団の士気と結束力を高めるとともに消火技術の向上を目的とする茅野市消防団の「第58回ポンプ操法大会」「第29回ラツパ吹奏大会」が北部中学校校庭で開催しました。地区大会を勝ち抜いたポンプ車の部9分団、小型ポンプの部9分団、ラツパ吹奏の部10分団が出場し、上位を目指しました。日頃から消火活動をはじめとする消防団活動の訓練を積んでいる消防団員。この大会は、市民の安全安心のために欠かせない存在である消防団の活動の成果を披露する場でもあります。

消防操法は、実際の火災現場を想定してポンプ車または小型ポンプからホースをつ

ないで放水し、炎に見立てた「火点」を倒します。

ポンプ車操法の部は5人1チームで、指揮者はチームの的確な号令とメンバーの安全確保、1番員は放水、2番員はホースの搬送と放水、3番員は各番員へのサポートと「とび口」の搬送、4番員は機関操作を行います。

小型ポンプ操法の部は4人1チームで、指揮者は号令、安全確保のほか、放水もを行います。1番員は放水と伝令、2番員は吸水管投入と「とび口」の搬送、3番員は機関操作を行います。全員が連携して、いかに早く、的確に決められた姿勢・行動を行っているか、キレのある動きで無駄なく動く姿ができるかが見どころです。

ラツパ吹奏の部は有事の際に号令をかける役割のあるラツパ団員の技術があるかどうかを見るときにも、規律のある行動ができていくかどうかを見ます。太鼓とあわせて課題曲を高らかに演奏します。

今年の結果は、ポンプ操法の部は玉川分団が4年ぶりに優勝。小型ポンプ操法の部は宮川分団が2年ぶりに優勝。ラツパ吹奏の部は湖東分団が2年ぶりに優勝しました。今後も消防団員は厳しい訓練を積みながら地域のために活動していきます。



ホースを担ぎ全力疾走(ちの分団)



水圧に耐え火点に向かって放水(宮川分団)



小型ポンプを作動(玉川分団)



車から降り操作を開始する団員(豊平分団)



吹奏を前に整列する団員(泉野分団)

Interview



茅野市消防団長
足立 孝幸

ポンプ操法・ラッパ吹奏大会の意義は？

ポンプ操法大会は、消防団の基本活動である消火活動の基本ができるかどうか、その訓練の積み重ねを披露する場です。

消防団の訓練や指示をするときに、ラッパを使うことがある。口頭では通じないような状況で、集合ラッパ、解散ラッパなどで意思を伝える。ラッパ吹奏大会はもっとうまくなりたいという気持ちを高める場だと考えています。

今大会を振り返って

私も団長になって3年ですが、毎年確実にレベルがあがっています。大会を続けている意味があると思います。

これからの消防団に期待することは

消防団活動は第一に火を消すことや人命を救助することがありますが、例えば大地震があつて体育館が避難所になったとき、一番最初に声をあげて、「皆さんで避難所を運営しましょう」と言えるような消防団員になってほしい。消防団員も被災者です。その中で話ができるようになるには、訓練を重ね、いろいろな人と関わらないとできない。地域の中で意見が言える団員になってほしい。自分の意見を持っている団員になってほしい。そのために、若い人にも入団してほしいし、温かい目で消防団を見守ってほしいと思います。

大会結果

ポンプ操法の部

優勝：玉川分団 準優勝：宮川分団
第3位：豊平分団

小型ポンプ操法の部

優勝：宮川分団 準優勝：中大塩分団
第3位：金沢分団

ラッパ吹奏の部

優勝：湖東分団 準優勝：中大塩分団
第3位：北山分団



ホースとホースをつなぐ
(湖東分団)



いかにまっすぐホースを伸ばせるかがポイント(米沢分団)



火点に向かって放水する団員(北山分団)



小型ポンプの部では放水しながら放水者が交代する(金沢分団)



吸水管を洗め、



高らかにラッパを吹き鳴らす(中大塩分団)

